株式会社ウェザーニューズ

東証1部上場 (4825)

ウェザーニューズは、“世界で最強の気象会社”をめざし、国内で培ったサービスをグローバルに展開している会社です。従来の常識にとらわれない、“無常識”な考えでサービスを展開。独自で観測をするインフラや気象解析モデルなど、お客様目線で本当に役に立つサービスの価値創造を行っています。

会社についての詳しい説明や業務内容についてお話しさせていただき、質問にもしっかりお答えいたします。ぜひ、興味のある学生様のご参加をお待ちしております。

対 象：情報工学部・情報工学府（2018年3月卒業・修了予定者）

How Wonderfulを実現する無常識インフラ ~常識にとらわれないインフラを仲間と一緒に創造~

WITH レーダー
航空機レーダーを応用し、局地的気象現象を捉える超小型レーダー
ゲリラ雷雨を始めとする局地的な気象現象を捉えるため、道路、鉄道、航空など交通事業者と共創したWITHレーダー。航空機の先端に搭載されるレーダーを応用して、世界初となる陸上観測を行うことにより、6秒に1回の高頻度観測が可能となりました。このWITHレーダーと、ゲリラ雷雨発生際により、ゲリラ雷雨の検知は99%を上回ります。

WNI-SAT 1
WNI-SAT 1
海水を観測し、“北極海航路”の安全航行を支援する超小型衛星
WNI-SAT1は北極海の海水を観測し、北極海の船舶の安全航行を支援する事を目的に、パートナー企業と共に開発した、超小型衛星です。機能を北極海の海水観測などに限定することで、大きさと27×27cm、重量も約10kgと超小型化を実現しています。

WITH センサー
全国3,000箇所に設置した、「面」で捉える高密度観測ネットワーク
「点」ではなく「面」で捉え、それをサーバーに還元したい。この想いに共感いただいた通信会社と共に、半導体センサーなどを使用することで低コスト化を実現した。高密度観測ネットワーク“WITHセンサーネットワーク”を構築しました。その数3,000地点、アメダス観測地点の約3.5倍に上り、更に精度の高い気象予測の基データとして活用しています。

Yure Station
あらゆるYure (揺れ) をサーバーと一緒に測り、Yure による被害軽減へ
生活のなかの“Yure”を測ることを目的に開発されたYure Stationには、スマートフォンなどで使用されている加速度センサーが内蔵されており、東西、南北の揺れれと縦揺れをわけて測ることができます。現在、サーバーとの協力を得て全国1,000箇所にネットワーク的に設置され、観測データはインターネットサイトで公開されています。

TSUNAMI レーダー
ウェザーニューズの「使命」として取り組む、津波を監視するレーダー
東日本大震災直後から、気象会社の使命として取り組んだのが、船舶衝突防止用レーダーを応用した、津波を捉えるTSUNAMIレーダーの開発です。検知可能距離は沖合約30キロで、時間に変算すると沿岸に到着する最大15分前に検知することが可能です。ウェザーニューズはこのTSUNAMIレーダーをグローバルに展開し、世界の津波リスク軽減に貢献します。

ポールンロボ
花粉飛散量とホコリをサーバーと一緒に測る、無常識インフラ第一弾
これまでの花粉観測は、スライドガラスに付着した花粉を光学顕微鏡で人間が数える、データ量が主でしたが、限界が多くありました。2006年より開発したポールンロボは、サーバーの力を借りて全国に1,000台設置、詳細リアルタイムを自動観測が可能となりました。

Oklahoma Innovation Center
“無”常識インフラを多くの仲間達と共に開発
気象の研究で最先端を行くオクラホマ大学を拠点、気象、地象、海象などの様々な分野において最先端な研究・開発を行う研究機関、学生、企業などが参加し、新たな価値創造につながる“無”常識インフラを開発しています。

日時：7月12日(水) 13:30~16:30

会場：飯塚キャンパス

総合研究棟大学院セミナー室N712

申込み：不要